

横浜に梅雨明け宣言が出た日にこの原稿を書き始めて
いるワケですが、この稿が皆様の目に触れるのは9月で
す。へんなカンジ。

さて、冷や麦、のハナシからスタートしますが、ごんごん
ハナシが横道に逸れていくのは目に見えていますけれど、
書き進めることとします。

この冷や麦、とっても美味しいから食べてみてねオサム
君、と、まゆみちゃんは一束の冷や麦の乾麺をトートツに
僕にプレゼントしてくれたのでした。

あ、まゆみちゃんというのは、僕の行きつけの、杉田にある
立ち飲み屋さんで働いている、人をいつも和やかな気持ちにさ
せちまう優しい笑顔の女性です。ちなみに僕と同じ年。

で、その冷や麦を早速自宅で食べてみたところ、僕の
今までの冷や麦人生(?)を覆すほどのおいしさ!(大げ
さ)。ワタシはどっちかつと素麺派だな、いや僕は何と
言っても冷や麦派です、といった大雑把な括りの楽しい
論争は置いて、まゆみちゃんがプレゼントしてくれた
のは、当然、素麺よりも太い冷や麦の中でも、さらにちよっ
と太めの、だからと言つて、細うどんをちよつと細目にして
みました、というほど太くもなく、いい意味で、ちよつとい
いカンジで「細太い小麦粉でできた麺」なんです。やや
こしいことですがみません、冷や麦の事で。

でもって、美味しいものを突然プレゼントされると、復
讐(?)せずにはいられないのが僕の性分です。僕の地元
農家、しかもデザイナー作の手造りオシャレな「ゆかり」

の瓶詰め仕返ししたのは当然の流れです。こうした、
自分が美味しいと思ったものをお互いに紹介し合うってな
んで楽しく幸せなんだろ。

ここまでなんとなくブツブツいつてますが、こういった
関係って、男同士ではまずないんですね。直近の出来事が
「冷や麦」と「ゆかり」のことだったのでそこから書き始め
てるのですが、そういった事つてけっこう頻繁にあるワケで、
九州の親類から送られてきた珍しい「当地ラーメン」をおす
そ分けすると、お酒によく合うなかなか手に入りにくい
高級乾き物で返り討ちにあつたり。ま、いろいろ嬉しいね。

そう考えると、僕には女性の友達が多い気がします。
しかも同世代か、ちよつと年上の。

ずっと独身のヒト、主婦のヒト、元主婦のヒト。何と言
うか、適切な言い方じゃないと思われませんが、「女子会」に
参加しているような。

試しにお取り寄せしてみたらとても美味しかったから
あげる、とか、関内でもとてもお手頃で美味しいお店見つけ
たから今度行こうよ、とか、珍しい調味料をみつけたの!
とてもおいしいから使ってみてねハイどうぞ!とか。

と、なんというかそういうことを言ってくれるオトナ
女子が僕の周りには多い気がします。

ハナシを、まゆみちゃんが唐突にくれたビックリする
くらい美味しい冷や麦のあたりに戻しますが。

実はその時、もう一つまゆみちゃんが僕にプレゼント
してくれたものがありません。

エッセイスト 北園修

横浜生まれ、横浜育ち。
東京コピーライターズクラブ在籍。
クリエイティブディレクター、エッセイスト。

それは「塩」。

前述の冷や麦にしろ、この塩にしても、当然お取り
寄せ、この辺に売っているものではないのですが、この塩、
パッケージをよく見ると、製造元の住所が東京都青ヶ島
村無番地となつています。激レア塩!味に対してのコメン
トは控えますね。僕のつたないレポートでは、甘みがある
だのしょっぱすぎないだの、ありきたりのコトバしかでてこ
ないもんね。コトバで表現できない美味しい塩です。「水」
とか「塩」つて、その美味しさを伝えるのが最も難しいモノ
かもね。全ての料理の大元だもんね。

その、冷や麦、僕の大好きな人達にも配りたいので、ま
ゆみちゃんに頼んで、送料折半でまた、追加注文してもら
いましたとき。

僕、バリバリの男独り暮らしなんだけど、こんなコト書い
てると、なんだか主婦みたいだな。ね、やつぱり、また、ハナ
シが逸れたでしょ。梅雨明けでいい天気。冷や麦食べよ。



Photo:藤間 久子『Slowly』

岡山県生まれ。JPS(日本写真家協会)会員。
カメラマンとして活動の傍ら、個展やフォト&
エッセイなど自分の作品づくりに励んでいる。